

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●サマー2000シリーズのチャンピオンはダービーフィズ

9月6日(日)の新潟記念(GⅢ)をもって今年のサマー2000シリーズ(計5戦)が終了し、第2戦・函館記念(GⅢ)1着、第4戦・札幌記念(GⅡ)3着で計15ポイントを獲得したダービーフィズ(牡5歳/美浦・小島大厩舎)がチャンピオンとなりました。

●三津谷隼人騎手がJRA初勝利をあげる

9月5日(土)の2回小倉11日・第3レースではタマモスズランが1着となり、同馬に騎乗した三津谷隼人騎手(栗東・目野哲也厩舎)は、JRA初勝利(53戦目)をあげました。

●矢作芳人調教師がJRA通算400勝を達成

9月5日(土)の2回札幌5日・第4レースではショウナンハルクスが1着となり、同馬を管理する矢作芳人調教師(栗東)は、現役43人目となるJRA通算400勝(4284戦目)を達成しました。

●各地で夏のリーディングジョッキーが決まる

9月6日(日)をもって2回新潟、2回小倉、2回札幌が終了しました。新潟ではこの開催で17勝をあげたミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)が、新潟競馬初参戦で夏の新潟競馬リーディングジョッキーを獲得。夏の小倉競馬で16勝をあげた川田将雅騎手(栗東・フリー)は2年ぶり3度目となる夏の小倉競馬リーディングジョッキーに輝き、札幌では19勝をあげた福永祐一騎手(栗東・フリー)が2年連続の札幌リーディングジョッキーとなりました。

●藤田伸二騎手が引退

藤田伸二騎手(栗東・フリー)は、9月6日(日)をもって騎手を引退しました。1991年デビューの藤田騎手は、フサイチコンコルドでのダービー、ヒルノダムールでの天皇賞(春)などGI・17勝を含むJRA重賞93勝。JRA通算成績は1万5271戦1918勝でした。

●エスメラルディーナ、トーホウアマポーラの競走馬登録抹消

2014年関東オークス(JpnⅡ)や2015年トゥクソムC(韓国G3)の勝ち馬エスメラルディーナ(牝4歳/美浦・斎藤誠厩舎/JRA通算5戦2勝・地方4戦1勝・海外1戦1勝)と、2014年CBC賞(GⅢ)勝ち馬トーホウアマポーラ(牝6歳/栗東・高橋亮厩舎/JRA通算24戦6勝)は、9月3日(木)付で競走馬登録を抹消されました。エスメラルディーナは北海道安平町のノーザンファーム早来、トーホウアマポーラは北海道日高町の竹島幸治牧場にて繁殖馬となる予定です。

●ミュゼスルタンが故障

2014年新潟2歳S(GⅢ)勝ち馬ミュゼスルタン(牡3歳/美浦・大江原哲厩舎)は、新潟記念(GⅢ)のレース中に右橈骨遠位端骨折を発症していたことが判明しました。今後3か月以上の休養を要する見込みです。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●北海道のフレンチイダルがすずらん賞で2着と善戦

すずらん賞(9月6日、札幌、芝1200m)には6頭の北海道所属馬がJRA認定馬の資格で出走し、中団から内を通過して追い上げた8番人気のフレンチイダル(牡、父キンシャサノキセキ)が勝ち馬とはクビ差の2着と好走。ジャーニーマンも5着に入りました。また、クローバー賞2着で出走資格を得た札幌2歳S(GⅢ、9月5日、札幌、芝1800m)に挑んだリッジマン(北海道)は、3番手追走も直線では後退して7着に終わっています。

●北海道のモダンウーマンが重賞2連勝【各地の主要2歳重賞】

リリーC(9月3日、門別、1200m、牝馬)は、後続を引き付けて逃げた3番人気のフルールCの覇者モダンウーマン(父サウスヴィグラス)が半馬身差で逃げ切り、単勝1.9倍で断然人気の栄冠賞馬タイニードンサーは伸びを欠いて3着に敗れています。ピギナーズC(9月6日、水沢、1400m)は、4番手から直線に入って間もなく先頭に立った2番人気のサブライズハッピー(牝、父ゴールドアリュール)が5馬身差で圧勝。単勝1.8倍で1番人気のチャイヨーは3着でした。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●独G1バーデン大賞～フランスのブランスジブラタル追込む

ドイツ3歳以上の年間最大レース、バーデン大賞(芝2400m)は9月6日にバーデンバーデン競馬場で行われ、1番人気のブランスジブラタル(牡4歳、父ロックオブジブラタル)が快勝。7頭立ての最後方から4コーナーで大外のラチ沿いへ進路を取り、一気に差し切りました。これでG1・2勝目。良馬場の勝ちタイムは2分31秒48。勝利騎手F.ヴェロン、調教師J.ルジェ。このあと10月3日のせり市へ上場され、翌日の凱旋門賞に出走の予定。2着は1馬身 $\frac{3}{4}$ 差で地元のナイトフラワー(独オークス2着)。

●米G1ウッドワードS～リアムズマップが圧勝

ニューヨーク伝統のウッドワードS(ダート9 $\frac{1}{2}$)は9月5日にサトガ競馬場で争われ、1番人気のリアムズマップ(牡4歳、父アンブライドルズソング)が逃げて差を広げ、4馬身 $\frac{3}{4}$ 差の圧勝でした。前走のG1ホイットニーSはクビ差2着で、これがG1初勝利。通算7戦5勝。これでブリーダーズC・クラシック(10月31日)の有力候補に浮上しました。